

教育支援センター「東益津チャレンジ」を開設

～焼津市教育支援センター条例を制定～

焼津市教育支援センター 条例の制定

Q 教育委員会が必要と認める事業とはどのような事業を想定しているのか。

A 東益津チャレンジなどは自然が豊かな場所でもあるため、地域のボランティアの方々に入っているいただき、様々な体験活動をするような事業が考えられる。

Q 地域との連携はコミュニティ・スクールなども想定しているのか。

A 子どもたちのニーズに応じて、その知識を有する地域の方などを探し、場合によってはコミュニティ・スクールを通じて紹介いただくことが考えられる。

Q 不登校児童生徒の受入れとして、30日以上欠席でないと、教育支援センターに通うことができないのか。

A 条例第2条では「不登校児童生徒及びこれに準ずる者」としていることから、30日欠席でなければ通うことができないことはなく、状況に応じ相談しながら対応する。



水槽付き消防ポンプ自動車 の取得

Q 今回大井川地区の消防団に配備の水槽付き消防ポンプ自動車の更新を行うが、大井川地区の3つの消防団の車両配備状況はどうか。

A 大井川地区は1つの分団の範囲が広く、地域の実情に沿って、水槽付きポンプ自動車、消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ積載車をそれぞれ配備している。

携帯型IP無線等（地域 防災無線）の取得

Q IP無線の更新とのことだが、192台の配置先は。

A 市の施設のほか、国・県の公的機関、福祉避難所の協定をしている施設、市内の医療機関、食料品や生活物資を取り扱っている業者、ライフライン関係の業者や機関に配備をすることを予定している。

Q 非常時に、今回更新する携帯型IP無線のほか通信手段はあるのか。

A IP無線は携帯電話の周波数を使っているが、それとは別に従来から使用している自営の無線のデジタル簡易無線というものがあり、消防防災センターのアンテナから発信している。2種類の無線を使用することができ、状況に応じ通信手段を確保できる。

Q 電波の届く範囲は。

A IP無線は携帯電話と同じく県外でも繋がる。デジタル簡易無線は市内全域をカバーしている。

【国保】紙の保険証廃止に伴うシステム改修

～資格確認書発行のための費用も補正予算に計上～

《市民福祉常任委員会》

令和6年度焼津市国民健康保険事業特別会計補正予算

Q 歳出予算に資格確認経費として委託料を計上する理由は。

A 12月2日をもって国民健康保険に係る、紙の保険証が廃止される。そのため、マイナ保険証の登録をしていない人に対して、保険証の代わりとなる資格確認書を発行するためのシステム改修費などを補正予算として計上するもの。

Q 資格確認経費の内訳と今後のスケジュールは。

A 8月初旬までを目途に負担割合等の表示内容をチェックするためのシステム改修費や、9月末までを目途に被保険者全員に加入者情報のお知らせを行うためのシステム改修費、11月中旬までを目途に資格確認書の作成を行うためのシステム改修費である。

Q 資格確認書の発行想定人数は。

A 令和6年1月時点における国保加入者のうち、マイナ保険証を

登録済みの人を除いた約8千人がマイナ保険証を登録していない人の数であり、資格確認書の発行対象者として想定している。

Q 資格確認書の様式・サイズは。

A 現行の保険証と同様である。

焼津市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定

Q 当該条例の対象となる市内の事業所数は。

A 小規模保育事業所が17か所、事業所内保育事業所が1か所である。

Q 今回の改正部分である3・4・5歳児を保育している事業所はあるか。

A 市内には無い。

Q 職員数は子どもの年齢区分ごとに基準を満たしていなければならないか。それとも、合計の人数が満たしていれば良いか。

A 合計の人数が基準を満たしていれば良い。

《建設経済常任委員会》

令和6年度(準)小石川遊水地整備工事請負契約の締結

Q 工事の入札方式を総合評価落札方式とした理由は。

A 治水対策として重要な工事であるため、工事の品質がより高まることを期待し、この方式とした。

Q 総合評価落札方式では、価格面のほか、どのような点が評価されたか。

A 例えば、施工実績や、配置される技術者の保有資格が評価項目となる。また、企業の社会性や信頼性を測る指標として、市内企業への施工割合や、災害協定に基づく活動実績なども評価項目とした。



(準) 小石川遊水地の整備工事箇所

安全・安心な通学路・集団移動経路の確保へ！

危険箇所には防護柵・区画線などを設置

交通安全施設整備事業費

Q 内容と工事の時期を伺う。

A 4月下旬に実施した通学路等合同点検の結果、早急に対策が必要となった道路の安全施設整備に要する工事費の増額であり、年内を目途に工事が完了するよう準備をしていく。

Q 海から中心部までの整備をしなかつた理由は。

A 今回緊急で点検をしたところは、小・中学校や保育幼稚園からの意見に基づいて行ったが、今後は通常の通学路交通安全プログラムに基づき、改めて点検を行っていく。

高齢者予防接種費

Q 新型コロナウイルスの自己負担は。

A 高齢者の予防接種として実施しているインフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンはワクチン代相当の自己負担額をいただいております、今回の新型コロナウイルスの自己負担についても自己負担3千2百円を想定している。

海業計画策定事業費

Q 渚泊の具体的な内容は。

A 焼津港内（新港）にキャンピングカーの利用者が車中泊できる区画を設置し、漁港の景観や海釣りを楽しんでもらうことや、駅から漁港へ周遊するための交通手段を検討すること、ほかに経済波及効果の検証などを実施する。



新港エリア

消防団の力向上モデル事業費

Q 国から委託された500万円を消防団の加入促進のために使用することのだが、具体的な内容は。

A ユーチューブに掲載する映像や加入促進のためのリーフレットの製作、消防団の活動服の購入等をしていきたいと考えている。

Q 新入団員の加入見込みは。

A 例年どおり、30人前後を目標にしたい。

プロジェクト「TOKAI-0」 総合支援事業費

Q 内容と補助件数の見込みは。

A 木造住宅、耐震補強の助成事業に要する経費であり、能登半島地震に伴い、申請が増加することを見込んだものである。今回は40件分の補強工事の費用を予算計上している。昨年度は、4月5月で17件であったが、能登半島の地震の影響もあり、既に40件を超える申請がある。